

2015 年 (平成 27 年)

【原著】

1. Takagi Y, Matsuoka Y, Shiomi T, Nosaka K, Takeda C, Haruki T, Araki K, Taniguchi Y, Nakamura H and Umekita Y.\* \*corresponding author  
Cytoplasmic maspin expression is a predictor of poor prognosis in patients with lung adenocarcinoma measuring less than 3cm. *Histopathol* 66: 732-9, 2015.
2. Shiomi T, Yoshida Y, Yamamoto O and Umekita Y.  
Extramammary Paget's disease: evaluation of the adnexal status of 53 cases. *Pol J Pathol* 6: 121-124, 2015.
3. Sejima T, Iwamoto H, Masago T, Morizane S, Yao A, Umekita Y, Honda M and Takenaka A.  
Initial evidence demonstrating the association between the vascular status in surgically resected renal parenchymal pathology and sexual function. *Int J Impot Res* 27: 90-94, 2015.
4. Nosaka K, Horie Y, Shiomi T, Itamochi H, Oishi T, Shimada M, Sato S, Sakabe T, Harada T and Umekita Y.  
Cytoplasmic Maspin Expression Correlates with Poor Prognosis of Patients with Adenocarcinoma of the Uterine Cervix. *Yonago Acta Medica* 58: 151-156, 2015.
5. Watanabe J, Saito H, Miyatani K, Ikeguchi M and Umekita Y.  
TSLP Expression and High Serum TSLP Level Indicate a Poor Prognosis in Gastric Cancer Patients. *Yonago Acta Medica* 58: 137-143, 2015.
6. Itaba N, Sakabe T, Kanki K, Azumi J, Shimizu H, Kono Y, Matsumi Y, Abe K, Tono T, Oka H, Sakurai T, Saimoto H, Morimoto M, Mabuchi Y, Matsuzaki Y and Shiota G.  
Identification of the small molecule compound which induces hepatic differentiation of human mesenchymal stem cells. *Regener Ther* 2: 32-41, 2015.

【症例報告】

1. Matsumoto K, Nosaka K, Shiomi T, Matsuoka Y and Umekita Y.  
Tumor-to-tumor metastases in Cowden's disease: an autopsy case report and review of the literature. *Diag Pathol* 10: 172, 2015.
2. Kaneda S, Fujii S, Nosaka K, Inoue C, Tanabe Y, Matsuki T and Ogawa T.  
MR imaging findings of mass-forming endosalpingiosis in both ovaries: a case report. *Abdom Imaging* 40:471-4, 2015.
3. Suzuki S, Yoshida Y, Shiomi T, Yanagihara S, Ito A, kimura R and Yamamoto O.  
Squamous cell carcinoma arising on plantar verrucous lesion. *J Dermatol* 42: 1010-1011, 2015.
4. Yoshida Y, Shiomi T and Yamamoto O.  
Pigmented dermatofibrosarcoma protuberance and blue naevi with similar dermatoscopy: A

case report. *Acta Derm Venereol* 96: 272-273, 2015.

## 【学会発表】

1. Matsuoka Y, Wakahara M, Yurugi Y, Takagi Y, Haruki T, Miwa K, Araki K, Taniguchi Y, Nosaka K, Shiomi T, Umekita Y and Nakamura H  
Prognostic significance of solid or micropapillary component in pulmonary invasive adenocarcinoma measuring  $\leq 3$  cm  
16th World Conference on Lung Cancer, Denver, Colorado, USA, September 2015.
2. 松岡佑樹、高木雄三、野坂加苗、塩見達志、春木朋広、荒木邦夫、中村廣繁、梅北善久  
3cm 以下の浸潤性肺腺癌 115 例における Solid および micropapillary component の予後因子としての検討. 第 104 回日本病理学会総会 名古屋, 4 月, 2015.
3. 高木雄三、松岡佑樹、塩見達志、野坂加苗、梅北善久  
細胞質における maspin 発現は 3cm 以下の肺腺癌に対する予後不良因子である  
第 104 回日本病理学会総会 名古屋, 4 月, 2015.
4. 坂部友彦、汐田剛史、梅北善久  
非小細胞肺癌患者における CD117 発現の臨床的意義  
第 104 回日本病理学会総会 名古屋, 4 月, 2015.
5. 栗原理佳、土居歩、野内直子、塩見達志、梅北善久  
病理解剖により原発巣が同定された胃印環細胞癌の一例  
第 104 回日本病理学会総会 名古屋, 4 月, 2015.
6. 西川ゆかり、田村丈、和田のどか、塩見達志、梅北善久  
皮膚転移巣で特異な組織像を呈した悪性黒色腫の一例  
第 104 回日本病理学会総会 名古屋, 4 月, 2015.
7. 窪田紀彦、河野久美子、塩見達志、梅北善久  
水疱部に神経線維腫様の組織像を伴った水疱性類天疱瘡の一例  
第 104 回日本病理学会総会 名古屋, 4 月, 2015.
8. 坂部友彦、安積遵哉、汐田剛史  
CD44 陽性肝癌幹細胞の mRNA/miRNA 発現解析と臨床的意義  
第 51 回日本肝臓学会総会 熊本, 5 月, 2015.
9. 板場則子、神吉けい太、坂部友彦、阿部健一郎、安積遵哉、國田慎弥、清水寛基、河野洋平、森本稔、汐田剛史  
肝細胞分化誘導性の新規低分子化合物の解析  
第 51 回日本肝臓学会総会 熊本, 5 月, 2015.
10. 神吉けい太、石島直樹、清水寛基、安積遵哉、坂部友彦、汐田剛史  
レチノイン酸による細胞内エネルギー代謝制御によるソラフェニブの肝細胞癌への作用増強機序. 第 51 回日本肝臓学会総会 熊本, 5 月, 2015.
11. 坂部友彦、安積遵哉、汐田剛史  
肝癌幹細胞を標的とする低分子化合物の効果の検討  
第 51 回日本肝臓学会総会 熊本, 5 月, 2015.

12. 安積遵哉、坂部友彦、汐田剛史  
microRNA-181a は RASSF1 発現抑制を介してソラフェニブ感受性を低下させる  
第 51 回日本肝臓学会総会 熊本, 5 月, 2015.
13. 阿部健一郎、清水寛基、板場則子、坂部友彦、神吉けい太、汐田剛史  
新規 Wnt/ $\beta$ -catenin 経路抑制性低分子化合物による肝星細胞活性化の抑制効果  
の検討. 第 51 回日本肝臓学会総会 熊本, 5 月, 2015.
14. 坂部友彦、安積遵哉、梅北善久、汐田剛史  
新規 ICG-001 誘導体 IC-2 は肝癌幹細胞を抑制する  
第 74 回日本癌学会学術総会 名古屋, 10 月, 2015.
15. 遠藤由香利、福原隆宏、竹内裕美、梅北善久、北野博也  
VTQ の線維化評価を利用した穿刺吸引検体の細胞採取量の検討  
第 48 回日本甲状腺外科学会学術集会 東京 10 月, 2015.
16. 若原誠、春木朋広、大島祐貴、松居真司、万木洋平、松岡佑樹、三和健、  
荒木邦夫、谷口雄司、中村廣繁  
非小細胞肺癌術後初回脳転移再発症例の臨床病理学的検討  
第 56 回日本肺癌学会学術集会 横浜, 11 月, 2015.
17. 万木洋平、春木朋広、大島祐貴、松居真司、若原誠、松岡佑樹、三和健、  
荒木邦夫、谷口雄司、中村廣繁  
術後胸膜再発を来した浸潤性肺腺癌の臨床病理学的検討  
第 56 回日本肺癌学会学術集会 横浜, 11 月, 2015.
18. 松岡佑樹、大島祐貴、松居真司、万木洋平、若原誠、春木朋広、三和健、  
荒木邦夫、谷口雄司、梅北善久、中村廣繁  
細胞質 maspin 発現は肺扁平上皮癌に対する予後不良因子である  
第 56 回日本肺癌学会学術集会 横浜, 11 月, 2015.
19. 三和健、大島祐貴、松居真司、万木洋平、若原誠、春木朋広、荒木邦夫、  
谷口雄司、中村廣繁  
肺癌ロボット支援手術の現状と最近の工夫  
第 56 回日本肺癌学会学術集会 横浜, 11 月, 2015.
20. 渡邊浄司、齊藤博昭、宮谷幸造、池口正英、梅北善久  
胃癌患者における Thymic Stromal Lymphopoietin の臨床的意義  
第 26 回日本消化器癌発生学会総会 米子, 11 月, 2015.
21. 坂部友彦、安積遵哉、汐田剛史  
CD44 陽性肝癌幹細胞関連 miRNA を用いた幹細胞癌患者予後予測因子の探索  
第 26 回日本消化器癌発生学会総会 米子, 11 月, 2015.
22. 坂部友彦、安積遵哉、汐田剛史  
肝癌幹細胞に対する新規 Wnt シグナル抑制性低分子化合物 IC-2 の効果検討  
第 26 回日本消化器癌発生学会総会 米子, 11 月, 2015.
23. 安積遵哉、坂部友彦、坪田智明、汐田剛史  
microRNA-181a は RASSF1 の発現抑制を介して肝細胞癌細胞株におけるソラフ  
ェニブ感受性を抑制している

- 第 26 回日本消化器癌発生学会総会 米子, 11 月, 2015.
24. 漆原正一、朝井良磨、安積遵哉、坂部友彦、坪田智明、池口正英、汐田剛史  
大腸癌幹細胞を標的とした Wnt/ $\beta$ -catenin 経路抑制性低分子化合物の効果の検討. 第 26 回日本消化器癌発生学会総会 米子, 11 月, 2015.
  25. 小松宏彰、佐藤慎也、澤田真由美、野中道子、野坂加苗、佐藤誠也、千酌潤、  
島田宗昭、大石徹郎、板持広明  
卵巣漿液性腺癌との鑑別に苦慮した悪性腹膜中皮腫の 1 例  
第 54 回日本臨床細胞学会秋季大会 名古屋, 11 月, 2015.
  26. 荒木邦夫、若原誠、谷口雄司、中村廣繁、松重貴大、遠藤由香利、大野千恵子、  
桑本聡史、野坂加苗、堀江靖  
末梢単発性の浸潤性粘液産生性肺腺癌における画像と術前生検・細胞診の特徴  
第 54 回日本臨床細胞学会秋季大会 名古屋, 11 月, 2015.
  27. 松重貴大、持田洋利、遠藤由香利、大野千恵子、野坂加苗、桑本聡史、堀江靖、  
梅北善久  
主膵管内進展を伴う膵腺房細胞癌の 1 例  
第 54 回日本臨床細胞学会秋季大会 名古屋, 11 月, 2015.
  28. 遠藤由香利、桑本聡史、大野千恵子、松重貴大、持田洋利、野坂加苗、松本和也、  
広岡保明、梅北善久、堀江靖  
膵液細胞診における膵腫瘍の IMP3, p53, Smad4 免疫細胞化学の診断的有用性の検討. 第 54 回日本臨床細胞学会秋季大会 名古屋, 11 月, 2015.